

マテリアルズインフォマティクスの 基礎と活用事例、導入の仕組み化

【LIVE配信】
【アーカイブ配信】

- ◆日 時 : 2026年03月24日(火) 13:00~17:00
【アーカイブ配信:3/25~4/8(何度でも受講可能)】
 - ◆会 場 : 【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。
 - ◆受講料 : 1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
- ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円
 - ・2名同時にお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円)
 - ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

**【講師】 積水化学工業(株) 先進技術研究所 情報科学推進センター
センター長 兼 MI推進グループ長/主席研究員 新明 健一 氏**

【講座趣旨・プログラム】※詳細内容は弊社HPでご確認下さい。

多くの素材・化学企業が、マテリアルズ・インフォマティクス(MI)を活用したデータ駆動型の材料開発への変革を進めている。当社においても、材料開発、化学分析、計算科学、画像解析、実験自動化等の幅広い専門領域の人材が協創することによって、独自のMIを推進し、近年では、フィルム、複合材料、触媒など、これまでに100を超えるテーマでのMIの活用が進捗し、そのいくつかは、すでに世に出た製品への適用を実現している。本講座では、素材・材料開発におけるMI活用ならびにプロセスインフォマティクス(PI)の事例を紹介するとともに、有効にMIやPIを活用するために、当社がおこなってきたMI推進の戦略、人材育成、仕組み化について述べる。さらに、近年注目度が上がっている実験自動化に関する世の中の動向や課題、当社での取り組みについても述べる。

1. MIの導入

- 1.1 当社R&Dの目指す姿 1.2 素材・材料開発へのMI活用とその期待

2. MIの材料・素材開発への活用事例

- 2.1 先行事例を自分の開発テーマに活用するための考え方
- 2.2 素材・材料開発にMIを適用するために必要な要素とは
- 2.3 複合材料の配合設計と品質予測の仕組み構築
- 2.4 外部データを活用した触媒材料の探索
- 2.5 構造物性相関を活用した接着成分の探索
- 2.6 MIによる低誘電モノマーの構造探索

3. プロセスへのインフォマティクスの活用

- 3.1 材料開発における反応プロセス制御の課題
- 3.2 事例からみる反応プロセス制御へのインフォマティクス活用
 - 3.2.1 複数の反応プロセスからなる材料の品質設計
 - 3.2.2 データ可視化の基本とその重要性
 - 3.2.3 良品を見るか、不良品を見るか
 - 3.2.4 データ解析は反応プロセスのどこまで考慮するか
 - 3.2.5 反応プロセスを制御するための特微量側の工夫

4. MI × 実験自動化への展開と課題

- 4.1 MI × 実験自動化=自律化の価値

- 4.2 MI × 実験自動化を取り巻く世の中の動向

- 4.3 当社におけるMI × 実験自動化の検討

- 4.4 MI × 実験自動化への将来展望と課題

5. 材料・素材開発へのMI活用に向けた仕組み作り

- 5.1 成果につながるMI推進に必要な要件
- 5.2 MI人材の育成と仕組み化
- 5.3 データ駆動型材料開発を実現するための環境整備
 - 5.2.1 事業貢献につながるテーマ選定
 - 5.2.2 成果刈取りの仕組み化
- 5.4 素材・材料開発効率化のための実験データの収集・蓄積
 - 5.4.1 実験データ収集・蓄積の課題
 - 5.4.2 実験データ収集を進めるための人材育成
 - 5.4.3 実験データ収集を進めるための仕組み化
- 5.5 インフォマティクス技術の構築
 - 5.5.1 当社におけるインフォマティクス技術の構築
 - 5.5.2 内製vs外部連携、枯れた技術vs最新技術
 - 5.5.3 おまけ 品質工学からもう一度パラメータ設計を理解する

6. 今後の展望

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順

1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。

2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。

3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。

・セミナー資料は開催日前までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『マテリアルズインフォマティクス』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒<■LIVE ■アーカイブ>

会社・大学		
住 所	〒	
電話番号		FAX

お名前	所属	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。	<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送
--------------------------------	-------------------------------	-----------------------------

●Webセミナーの受講申込みについて

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。

セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧下さい。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター
〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F
TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>